

グロッサリ

Glossary—グロッサリ—

DX (デジタルトランスフォーメーション)

企業が外部エコシステム（顧客、市場）の劇的な変化に対応しつつ、内部エコシステム（組織、文化、従業員）の変革を牽引しながら、第3のプラットフォーム（クラウド、モビリティ、ビッグデータ/アナリティクス、ソーシャル技術）を利用して、新しい製品やサービス、新しいビジネスモデルを通して、ネットとリアルの両面での顧客エクスペリエンスの変革を図ることで価値を創出し、競争上の優位性を確立すること。

（引用元：

<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r03/html/nd112210.html>）

GSI

複数の国・地域にまたがるサプライチェーン用規格（たとえば、バーコード規格など）を定める、国際的な流通システム標準化機関。GTINはGS1標準の商品識別コードの総称である。

SFP

スマートフードサプライチェーン。WAGRIをベースに、生産だけではなく、加工・流通・消費にまで拡張したデータ連携基盤。

WAGRI

2017年に設立の農業データ連携基盤協議会が構築する農業データ連携基盤。生産性向上、経営改善のためのデータの連携や提供機能を持つ。

アンビエント・コンピューティング

デジタルデバイスを意識的に操作することなく、環境の中で自然にデジタルデバイスを活用すること、もしくは活用する状態。

カーム・テクノロジー

ユーザの思考や行動の邪魔をしないように配慮して設計された、無意識に利用することができるテクノロジーのこと。

コアグラ

正式名称は英語で凝固を意味するコアグレーションという。医療現場では血液の凝固塊を示す。ドレーンや排尿のバッグの中に血液の凝固塊があるかどうかは、出血の速度や血液の凝固能力を推定する手がかりとなる。

スマートシティ

ICT等の新技術を活用しつつ、マネジメント（計画、整備、管理・運営等）の高度化により、都市や地域の抱える諸課題の解決を行い、また新たな価値を創出し続ける、持続可能な都市や地域であり、Society 5.0の先行的な実現の場のこと。

（引用元：https://www8.cao.go.jp/cstp/society5_0/smartcity/）

スマートホスピタル

医療業界のデジタルトランスフォーメーション。ITを用いて医療の質向上や医療従事者の働き方改革、患者の利便性向上を実現することを指す。

ソースマーキング

サプライチェーンマネジメントのための商品管理用コードを、商品の生産段階で印刷し、貼り付けること。

ドレーン

体内に貯留した血液・膿・浸出液を体外に排出する医療行為を「ドレナージ」といい、そのために手術中に体内から体外に出るように留置する管のことを「ドレーン」と呼ぶ。術後ドレーンの排液の量や色調を確認することは、術後順調に経過しているか、また異常が起きていないか、等の体内の状態を詳細に推測するために重要であり、特に色調の再現性が重要である。